

統合新領域学府

○概要

20世紀の科学的な知的探求は、高度化し専門分化しながら、新たな知を生み出しつつ、学問を大きく発展させ、モノの豊かさを実現してきました。しかし、その反面で科学的な知が専門分化し細分化されるにつれて、専門領域を超えた知の交換や相互理解が困難になりつつあります。これは知のエントロピーの増大とでもいうべき知の探求への負のエネルギーの発生です。

他方で現代社会は、これまでの科学では解き難い複合的で多元的な課題を次々に生み出しています。いま問われているのは、知の専門分化を受け入れながらも、知のエントロピーの増大を抑えて、新たな科学的な知を生み出す知識創造の仕組みを構築することです。

九州大学では新たな科学のフロンティアを開拓し、また科学的な知を再編成し統合するための知的探求と教育の仕組みとして「統合新領域学府」を開設しました。統合新領域学府では統合をキーワードに先端科学分野における科学的な知が、専門的な知の動員とその交流と創造を通じて探求されます。そのことによって従来の学問の縦割りでは捉えることが難しい、複合的かつ根源的な新しい課題に取り組み、その知的成果を社会に還元するとともに、そのような知の担い手として活躍する高度な専門人材の養成を目指します。

○ 独創的な3専攻

2009年4月に「ユーザー感性学専攻（修士）」と「オートモーティブサイエンス専攻（修士・博士）」の2つの専攻を開設し、2011年4月に「ユーザー感性学専攻（博士）」と「ライブラリーサイエンス専攻（修士）」が、2013年4月に「ライブラリーサイエンス専攻（博士）」が開設されました。

なお、2023年4月に「ユーザー感性学専攻（修士・博士）」の専攻名称を「ユーザー感性スタディーズ専攻」に変更します。

各専攻の授与学位は下表に示すようになります。

いずれもわが国初の大学院専攻であり、現代社会や現代の科学に問われている実在的な課題から出発するところに特徴があります。それぞれの専攻は国際的な学術拠点として知のフロンティアを切り拓き、研究活動を先導するとともに、産業界の高度な人材養成への熱望に応える大学院専攻です。

専攻名	学位	
ユーザー感性スタディーズ専攻	修士	修士（感性学）： Master of Kansei Studies
		修士（芸術工学）： Master of Design
		修士（工学）： Master of Engineering
	博士	博士（感性学）： Doctor of Kansei Studies
	博士（芸術工学）： Doctor of Design	
	博士（学術）： Doctor of Philosophy in Kansei Studies	
オートモーティブサイエンス専攻	修士	修士（学術）： Master of Philosophy in Automotive Science
		修士（オートモーティブ・サイエンス）： Master of Automotive Science
		修士（工学）： Master of Engineering
	博士	博士（学術）： Doctor of Philosophy in Automotive Science
		博士（オートモーティブ・サイエンス）： Doctor of Automotive Science
博士（工学）： Doctor of Engineering		
ライブラリーサイエンス専攻	修士	修士（ライブラリーサイエンス）： Master of Library Science
	博士	博士（ライブラリーサイエンス）： Doctor of Library Science

:

○統合新領域学府の教育上の特徴 オートモーティブサイエンス専攻

「オートモーティブサイエンス専攻」は、オートモーティブという視点から自動車と先端技術、自動車と人間や社会、自動車と環境・エネルギーなどの先端的で複合的な課題を統合的な知の仕組みに基づいて解明し、新しいオートモーティブ社会を創造する高度な専門人材を養成することを目指します。これほど総合的で体系化されたオートモーティブ大学院は世界に例を見ないものであり、自動車大国のわが国に待望久しかった初の本格的な自動車大学院です。

本専攻には、工学から人文社会科学にまたがる科学的な知が統合され、オートモーティブをサイエンスしつつ、進展の著しい自動車産業・社会に柔軟に対応できる確かな専門性を備えた高度な指導的技術者・研究者を養成します。出口をオートモーティブに特化して、産官学からなる教授陣による弾力的な専門能力を育成する主専攻・副専攻制度、長期のインターンシップ、英語による国際コミュニケーション演習などが展開されます。

教育研究の専門分野として、先端材料科学、ダイナミクス、情報制御学、人間科学、社会科学の次の5分野が設けられています。

(1) 先端材料科学分野

次世代自動車に求められる各種先端材料（鋼材、高分子材、セラミック、半導体等）の究明とともに、燃料電池、Liイオン2次電池やパワーデバイスの開発を目指します。

(2) ダイナミクス分野

次世代エンジンの動力学特性の解明と開発、空力特性及び動力学特性に優れた信頼性の高い車体の構造の究明を目指します。

(3) 情報制御学分野

車載制御システムの教育研究、組込みハードウェアやソフトウェアの開発、ITSなど先端的な自動車情報計測制御の教育研究を目指します。

(4) 人間科学分野

快適、安全な次世代自動車デザインの開発、車とヒトの交通心理学や安全文化論の探求、さらに交通流及び交通情報の工学的解明を目指します。

(5) 社会科学分野

産業の政策や法規、交通やエコロジーの経済などのマクロな課題と、戦略経営、イノベーションや生産のマネジメントなどの技術経営の解明を目指します。

修士課程、博士後期課程でどのように学ぶかに依存しますが、本専攻の修了生はオートモーティブを中心に幅広い分野で活躍することが期待されます。具体的には、自動車産業の研究開発部門の研究者、生産技術分野のエンジニア、技術経営分野のマネージャー、大学や各種研究機関の研究者などです。

○アドミッションポリシー

次のような資質と問題意識を持つ人材を対象として専攻毎に入学選抜を行います。

- (1) 専攻の専門に係わる諸問題を学際的に解決し社会に成果を還元したいという意欲を有していること
- (2) 社会において先導的役割を果たしたいという意欲を有していること
- (3) 柔軟な発想力、基本的なコミュニケーション能力、幅広い教養を有していること
- (4) 社会人にとっては、企業や地域社会での経験、問題意識を大学において理論的に進化・体系化させたいという意欲を有していること